

第2学年 特別活動（学級活動）指導案

日時 平成21年10月28日（水）6校時
学級 第2学年 男子13名 女子7名 計20名
授業者 教諭 松田慎也

1 題材名

「互いのよさ 一生徒祭の成功を願って」

2 題材設定の理由

（1）題材について

学習指導要領特別活動の〔学級活動〕の目標は、「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる」と示している。学習指導要領解説によると、「望ましい人間関係」とは、「豊かで充実した学級生活づくりのために、生徒一人一人が自他の個性を尊重するとともに、集団の一員としてそれぞれが役割と責任を果たし、互いに尊重しよさを認め発揮し合えるような開かれた人間関係」である。

学習指導要領特別活動の〔学級活動〕の内容（1）「学級や学校の生活づくり」には、イとして「学級内の組織づくりや仕事の分担処理」がある。学級内の組織の活動が効果的に行われるためには、学級の成員すべてが互いの個性を尊重しながら、何らかの役割を分担して協力し合うことが必要である。生徒は、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画することによって、有意義な学級生活を経験するだけでなく、集団への所属感を高め、実践活動の中で、協力、親和、責任、友情などのもつ意義を体得することができる。

第2学年としての生活が折り返し地点に到達しようとしている現在、これまで多くの行事や活動を通して、「一つの目標に向かってみんなで進むためには、自分の考えを話し、相手の考えをよく聴くことが大切である」ということを学んできた。その機会となったのが、体育祭での組団活動や体育祭をふり返る「体育祭を熱く語る会」、中総体に向けて全校で意識を高め、互いに励ましあう「中総体で熱く燃える会」、結果を報告しあい、健闘を讃えあう「中総体を熱く語る会」、校則改正に向けた先輩の活動と自分たちの生活を見つめ直す場となった「校則改正記念集会」、全校生徒に向けて第2学年が発表した「職場体験学習発表会」などである。その中で、意見や考えの交流を通して、相手の気持ちを少しでもわかりたいという気持ちが生徒の中に少しずつ芽生えてきたものととらえている。

本校では11月1日に生徒祭（文化祭）が行われる。一年間の文化活動の集大成となる生徒祭を心から感動し、充実したものになるように、達成感を味わいながら終わらせたいと願う。そのため、これまで取り組んできた活動や練習などから見えてくる互いのよさを認め合い、残り少ない準備期間を生き生きと誇りを持って活動させ、当日を迎えさせたいと思い、この題材を設定した。

（2）生徒について

本学級の生徒は、全般的には落ち着いた態度で学校生活を送っている。

自分の気持ちを表現することについては、女子は生活ノートにその日の出来事や感じたことなどをていねいに書き表すことができる。文章の記述の量だけではなく、その内容も豊富で、表現力が総じて高いととらえている。一方、男子については、生活ノートに書く内容はやや少なく、起こった事実のみを簡単に記していることが多い。しかし、感情は豊かで、生徒どうしで話す雑談などは話し声も大きく、表情も明るい。また、男女とも相手を強いことばで非難したり攻撃したりすることは好まない。

学級の中で（公の場で）発表する場面では、話す声の大きさや速さ、聴く人が理解できるようなことばの選び方などに気を配る生徒が増えてきている。以前は、相手にきちんと伝えるという意識がそれほど高くなく、なんとなく話してそれで終わるといった場面も見られた。前述のとおり、これまでの行事や活動で学んだ話し合いのスキルを生かし、今では生徒どうしから「聞こえないからもう一度話して」、「わかりやすく説明して」、「ちゃんと聴こうよ」などの指摘が出されることもあり、「話す・聴く」という言語活動については概ねよい面が見られる。

その半面、話す内容の背景（理由・過程・葛藤など）に言及して自分の思いを伝え、また相手の思いを聴くことができる生徒は多くはない。話し合い活動の時には、情報の伝達や感情の交流に誤

解やすれ違いが生じる場面も見られる。論理的に話の筋道をはっきりさせながら伝えることを苦手とする生徒もいる。また、自分の考えや思うところはあっても、意見を交流させることに慣れていないのか、「みんなと同じでいい」といって物事を決めようとする生徒や、語彙が豊富ではないために会話が続かなかつたり、異性と話すことに抵抗を感じたりする生徒もいる。本音を語り、時には意見をぶつけ合いながらも同じ理想・目的に向かって歩んでいこうとする姿勢はまだ十分ではないととらえている。

(3) 指導について

学級合唱の練習、全校演劇の係分担、壁新聞の作成、校内弁論大会の準備、教科作品の展示など、生徒は生徒祭に向けて複数の活動を同時並行で行ってきている。そして、これらの活動の大半は他者との共同で行われるものである。したがって活動を通して他の生徒の新たな発見や気づき、ひいては他の生徒のよさに触れさせたい。

学級目標の中に「感動の共有」がある。その具現化のために、本題材の指導として、「生徒祭を成功させるために、自分は何をがんばるか」や「どういうことをすれば感動を味わえるのか」を生徒に考えさせ、その目標・決意をカードに記入させる。掲示されたカードによって個々の生徒の思いを視覚化し、絶えず意識させながら、毎日の活動に取り組ませる。

本時では、これまでの日常生活の中で見つけた他の生徒のよい面を伝え、受け止めた生徒が感じた気持ちを話すという活動をおし、互いを認め合う気持ちをつくっていくように展開する。具体的には、それぞれの生徒のがんばっていることやよい点を学習シートに書いてまとめ、それを話すことによって相手に伝える。次に、受け止めた生徒がそのメッセージを聴いて思ったことを話すこととする。その後、それぞれの生徒が持つよさを学級のよさにつなげ、改めて「生徒祭のために自分は何をどうがんばるか」を考えさせる。

これまでの話し合い活動においては、「情報を他者に正しく伝えること」や「わかりやすく発表すること」などに取り組んできたが、「自分なりの感想や意見を織り交ぜながら相手に話すこと」と、「その話す人がどんな気持ちであったのかを想像したり共感したりしながら聴くこと（同じ立場だったら自分はどう思うだろうか）」にも配慮させながら話し合わせたいと考える。

(4) 研究にかかわって

今年度の本校の研究主題「特別活動における、よりよい人間関係を築くことができる生徒の育成—コミュニケーション能力を高める指導をとおして—」にかかわって、3つのコミュニケーション能力のうち、本時は「他者を理解する」と「自己開示」を中心とした授業を構成した。

3 指導計画

10月13日(火)	短学活	カードへの記入…「生徒祭の成功のための自分の目標・決意」
10月28日(水)	学活	「互いのよさ 一生徒祭の成功を願って—」(本時)
10月29日(木)	短学活	感想の交流(短学活などでの紹介、学級通信の活用など)
11月1日(日)	行事	生徒祭当日
11月5日(木)	短学活	生徒祭の反省(ふり返りカードへの記入)

4 本時について

(1) ねらい

- ア 互いのよさを見つけ、それを相手にきちんと伝え、励ましあうことができる。
- イ 自分のよさを自覚し、生徒祭の成功をめざして、他の生徒とともに意欲を持って取り組もうとする気持ちを持つことができる。

(2) 展開

段階	時間	学習内容	学習活動	留意点 (支援)	研究とのかかわり (☆) 評価 (◎)
導入	7分	1 前時の学習のふり 返り	・ 事前に各自が書いた学習シートの集計結果を見る。	・ 明るい雰囲気の中で授業を進められるように、ゲーム的な要素を取り入れる。	☆始業のあいさつ
		2 学習課題の確認	・ 今日の授業の内容を確認する。	・ 今日の学習のねらいをしっかりと理解させる。	
みんなが持っている互いのよさを、生徒祭の活動につなげよう。					
展開	33分	3 学習活動の確認	・ 教師の説明を聞き、今日の学習活動の内容を把握する。	・ 発表の方法を例示して、話し方のイメージを持たせる。	☆自己開示 ◎互いのよさを見つけ、それを相手にきちんと伝え、励ましあうことができたか。(観察)
		4 相手のよさの発表 (班ごとの話し合い)	・ 学習シートに記入したことをもとに、班の中で互いに相手のよさを発表(紹介)する。	・ 相手のよさを具体的に発言させる。 ・ どの生徒にもそれぞれのよさがあることを認識させ、一人の生徒に対して複数のよさを挙げさせる。	
		5 自分の感想の発表 (感想の交流)	・ 発表を聞いて、自分はどう思ったかを発表する。	・ 他者からのメッセージを受け止めて、自分が感じた思いを発言させる。	
		6 学級全体への広がり (自己の目標の設定)	・ 互いのよさを理解し、生徒祭に向けて自分が努力していきたいことを発表する。	・ 一人ひとりのよさが集まって学級のよさにつながることを意識させ、生徒祭のために自分は何をがんばるのかを発言させる。 ・ 他者とのかかわりという視点から、「みんなとともに活動する中で自分ががんばること」を発言させる。	
終末	10分	7 学習のふり返り	・ 今日の学習をふり返り、学習シートに感想を記入する。	・ 今日の学習についての感想を記入させる。	☆他者を理解する ☆自己開示
			・ 各班から1名ずつ感想を発表する。	・ 話す生徒に注目して聴かせる。	
					☆終業のあいさつ

(3) 本時の評価

ア 互いのよさを見つけ、それを相手にきちんと伝え、励ましあうことができたか。

イ 自分のよさを自覚し、生徒祭の成功をめざして、他の生徒とともに意欲を持って取り組もうとする気持ちを持つことができたか。